

全国ネットワーク立ち上げ！ 争議団初の議員連絡会結成！



2025年5月25日茨城の会議員連絡会が発足！

支 え る 会

発行責任者
袖木康子

大田区羽田3-3-15
デラモタワー202
TEL03(6423)7878

メール
sasaerukai@emo-n.plala.or.jp

全国ネットワーク立 ち上げ・初の本社要 請行動

3月25日JAL不当解雇撤回闘争支援東京連絡会は2回目の品川における統一宣伝行動を行い、一回目よりも多い参加者で成功させました。

5月6日、東京連絡会主催で全国JAL争議支援者交流会が開催され、北は釧路から南は福岡・北九州まで多くの支援団体が結集。

会場一杯の参加者からJA-L争議の取り組み、思いが熱く語られました。そして、今この場で全国的な組織を立ち上げようと、「JAL争議支援全国ネットワーク」を結成することが満場一致で認めされました。

初の取り組みとしてJAL本社要請行動を決定しました。6月3日、12時～JHU主催のJAL本社前宣伝行動に多くの支援者が参加し、各地、都内各ブロックから連帯挨拶を受け、争議団から決意表明。その後、全員で要請をすべく本社の受付に移動しました。ところがビルの外で構えてい



全国ネットの結成を確認！

「アポの無い人は外で、中では要請は受けないことをビルの管理会社と確認している。事前に会社に文書を送付されたことについては承知、対応するよう言わわれている」と発言。それに対し「そもそも君はどういう権限で発言しているのか。すでに中にいる。ここ共同代表らとのやりとりが続きましたが、会社側が拒否し続けたため、今後も要請を続けることを伝え、今回の要請は中止しました。

7月には運営会議を開催し、今後の行動などを協議する予定です。

「アポの無い人は外で、中では要請は受けないことをビルの管理会社と確認している。事前に会社に文書を送付されたことについては承知、対応するよう言わわれている」と発言。それに対し「そもそも君はどういう権限で発言しているのか。すでに中にいる。ここ共同代表らとのやりとりが続きましたが、会社側が拒否し続けたため、今後も要請を続けることを伝え、今回の要請は中止しました。

7月には運営会議を開催し、今後の行動などを協議する予定です。

解雇事件は今年で15年が経つ。稻盛和夫氏は、日本記者クラブで165名を残すことが経営上不可能かというとそうではないと明言した。この解雇事件は会社の赤字の再建を労働者を犠牲にして行った。そして、その解雇は職場で物語る労働者の排除、労働組合の弱体化を狙った不当労働行為そのものだ。解雇後、パイロット700名以上、客室乗務員7500名以上を新規採用したにもかかわらず、被解雇者を1人も原職に戻さないのは、不当労働行為であり人権侵害だ。解雇の理由を年齢や病欠を基準とすることは働く者の権利の侵害でもある。ILO条約は「疾病又は負傷による一時的な休業は、終了の妥当な理由とはならない」としており、ILO166号勧告は「疾病又は負傷」に加えて「年齢」をも理由としてはならないとしている。「JALグループ人権方針」は「JALグループでは、性別、年齢、国籍、人権、民族、宗教、社会的身分、障がいの有無、性的指向・性自認などに

《要請文要旨》

よる差別の禁止」他に努めている。解雇はJAL労働者にとって社会的・経済的に極めて大きな影響を及ぼす故に、本解雇争議は全労働者が共有する課題であるとして私たちは支援を続けている。又、昨今のJALの事故や飲酒問題等の報道に接する度に、安全運航が確保できているのか、利用者としても大きな懸念を抱いてる。15年目を迎えた被解雇者の年齢も看過できな

JAL争議初! 「茨城の会議員連絡会」発足!

5月25日、空の安全とJAL争議の全面解決を支援する茨城の会による「議員連絡会結成総会」が水戸市内で開催されました。

総会に先立ち12時～水戸駅前で宣伝行動を行い、多くの議員も参加されました。議員連絡会は超党派の32名の県市町議員により結成され、政治の場をおこないました。

から解決促進を目指すためには、国会議員の取り組みを支え押し上げていくことが目的のこと。

JAL争議初の議員連絡会代表には玉造順一県議会議員（立憲民主党）が選出されました。

5月25日、空の安全とJAL争議の全面解決を支援する茨城の会による「議員連絡会結成総会」が水戸市内で開催されました。

（写真次ページ）

から解決促進を目指すためには、国会議員の取り組みを支え押し上げていくことが目的のこと。

JAL争議初の議員連絡会代表には玉造順一県議会議員（立憲民主党）が選出されました。

尚、優先雇用事件については6月11日から審査が再開されています。多くのパヨックトや客室乗務員を使用しながら被解雇者を一人も職場に戻さないのは、JALが組合敵視の不当労働行為意思に基づいていることを、しっかりと今後明らかにしていきます。



い状況に至っている。私はこの争議の全面解決は喫緊の課題と考え、早急にJAL不当解雇撤回争議団の要求に基づいて解決することを求める。

東京都労働委員会報告

昨年12月25日にあつせんが打ち切りとなりましたが、3月21日の都労委ではJAL2事件が、4月17日には国交省事件が結審となりました。結審日には集めた救済命令を求める団体署名を約1100筆都労委に提出しました。約一ヶ月半でこれだけ集まつたのは支援の皆様の御協力によるものです。ありがとうございます。両事件とも9月頃に命令が出されるとのことですので、まだお出しいただいている団体は是非早期送付にご協力ください。

要請文と署名用紙はJHUUホームページよりダウンロードすることができます。

3月31日、2024年1月2日に羽田空港でJAL機と海上保安庁機が衝突した事故について、運輸安全委員会から昨年12月25日に出された経過報告書を通して見える客室の運航の安全に係わる問題点について現役客室乗務員（JHUU組合員）を中心に記者会見を実

次回都労委調査：
9月9日16時～



施しました。会見には、7社8名の記者が出席し、熱心に耳を傾けていました。また客室乗務員は海外では殆ど国家ライセンスですが、日本では航空法で「航空従事者」に位置づけられておらず、総務省の職業分類では「接客給仕従事者」の扱いになっています。乗客の命を守る仕事を担いながら、サービス業のみの位置づけは問題です。

訃報

JAL争議解決に向けてご尽力いただいてきた上条貞夫弁護士(94歳、東京法律事務所)が2025年6月29日ご逝去されました。

謹んでお悔やみを申し上げます。

1日も早い争議解決の報告を届けましょう！！

（写真：2023年1月24日第12回青空チャンネルに出演）

弁護士 上条 貞夫

JAL 株主総会報告

最初の質問者に山口JHU委員長を指名！？

6月24日8時30分、株主総会会場の東京ガーデンシティ前で例年通り株主に対する宣伝行動を行いました。早朝・酷暑であるにもかかわらず多くの支援者が参加され、会場に入る株主の多くは争議団・支援者が配布するビラを受け取り、読みながら入って行きました。

社内二労組が争議を終結した後、一昨年の株主総会から質問に手を挙げても争議団や支援者に対しても全く

指名しない状況が続いていました。しかし、今回はいきなり最初に山口JHUU委員長が指名されました。その後も更に争議団が一人、

動議では争議団と支援者株主が二人指名され、解雇争議について発言することができました。以下発言内容と会社の回答です。

た。同意できぬJHUとは、
話し合いを続け、今後も会社
の解決案にご理解を得られ
るよう真摯に対応する。
鳥取社長：二度とこのよう

5月25日 水巨駕前宣傳行動

大堀人財部長：各職場でベテランは十分に存在している。鳥取社長：自分自身に責任がある。コミュニケーションの課題が大きい。すぐに結果の出ないものもあるが、深い話を持つ場を多く持つ話し合いを真摯に続けたい。

支援者A.. 役員解任動議。動議はすべて否決されました。

なつて いる労使紛争をまず
解決すべき。解雇撤回、解
決金支払いを受け入れること
とを決議したらどうか。

人員体制の問題など経営姿勢に対する疑問を出されました。ここ数年安全上のトラブルがなくならない状況を反映したものと思われます。総会後出口でビラを配布していた争議団に対し複数名の株主が話しかけてきていました。

ていた。昨年の役員報酬は4億8200万円。社長は謝罪。争議団から役員を。争議団B..取締役はうそをついている。人員削減目標は達成し、超過達成していく。たにもかかわらず事実を隠して解雇し、15年も放置している。取締役に適さない。

なつて いる労使紛争をまず
解決すべき。解雇撤回、解
決金支払いを受け入れること
とを決議したらどうか。

ていた。昨年の役員報酬は4億8200万円。社長は謝罪。争議団から役員を。争議団B..取締役はうそをついている。人員削減目標は達成し、超過達成していく。たにもかかわらず事実を隠して解雇し、15年も放置している。取締役に適さない。

なつて いる労使紛争をまず
解決すべき。解雇撤回、解
決金支払いを受け入れること
とを決議したらどうか。

大堀人財部長：各職場でべテランは十分に存在している。鳥取社長：自分自身に責任がある。コミュニケーションの課題が大きい。すぐに結果の出ないものもあるが、深い話を持つ場を多く持ち話したいを真摯に続けたい。

なつて いる労使紛争をまず
解決すべき。解雇撤回、解
決金支払いを受け入れること
とを決議したらどうか。



四国キャラバン

今年もJALの不当解雇撤回と全国一律最賃1500円をめざす四国キャラバンが実施されました。

6月2日香川、3日徳島、

4日高知、5日愛媛と車を仕立てて廻ります。各地で労働局交渉、街頭宣伝、報告集会、交流会を行い、朝から晩まで内容の濃い一日です。

各地の労働局交渉では、毎年行っている成果か、いつもと違う対応も見られました。報告集会にはお忙しい多くの支援者が結集し、争議団の報告に激励や質問が

寄せられました。物販も毎回沢山御協力いただき、愛媛では殆ど売る商品がなくなるという嬉しい悲鳴でした。カンパも沢山いただき本当に有難うございました！



株主総会に向けて 都内キャラバン

・5月15日三駅頭で宣伝

北千住→上野→御徒町

ビラを見て沢山の方から反応がありました。

「労働組合があつたから守られているものがある。今のがい人たちは大変」「負けないで頑張ってほしい」などと励まして頂きました。

・6月8日銀座ホコ天宣伝
&練り歩き



4・25トランジットコンサート

郵送の方にはニュースを同封しています。ネット会員の方は以下のURLをクリックしてニュースをご覧ください。

https://jhu-wing.main.jp/file25/jhu_news-153.pdf



日曜日の午後、銀座の歩行者天国で宣伝。その後、イトシア前でも宣伝を行いました。

銀座は外国人、お子さん連れが多く沢山の方がビラを取りに来られたり、励ましの言葉をかけて下さいました。

用意した風船（JALは解雇争議を解決せよ！のロゴ入り）を子どもたちに配りました。



争議団は今年も各地のメーデーに参加しました。

東京・新潟・埼玉・千葉・茨城・神奈

川・埼玉・千葉・京都・愛媛・福岡の15カ所のメーデーに参加しました。

各地で訴え、デモにも参加しました。元気をいただきました。



各地のメーデーに参加